（大正十年四月二十二日第三種郵便物認可）　昭和三年十一月廿四日　磐城新聞　〔土曜日〕　第二千三百九十七號　（一）

磐城新聞
（廿三日夕刊）
休刊　大祭第一第三日曜
定價（一壹枚二錢、壹ヶ月五十錢、郵稅十錢）早くも同紹介所職員は就職口の開拓に奔走して居る
廣告料（二行平錢指定廿錢增）
發行兼編輯印刷人　蓮沼龍輔
發行所　磐城新聞社　福島縣平町田町拾六　電話五六四番

頓に增加して來た 平町の肉の需要

屠畜稅を減免せんと 同業者間に運動

石城郡地方は近年牛肉を始め各種獸の需要は年々增加し來つたことは一般の嗜好より見て當然の歸結でさから今後年々追よてます〳〵その數量を增すべきは何等の疑ひを容れないものであるそれで本品の需給狀況久晩霞氏、只野清氏、中態を圓滑にし各家庭の負擔を輕減すると共に當業者の利福に資したいとの希望かひ知れぬ筆のあとを持つて同業者らは屠畜稅の減免方をその筋に要請してゐるけれと未だその目的を達し得ないことを遺憾としてゐる然かも肉類需用は前記如く近來頓み增加し然かも品を要望する向きます〳〵多いで年來神戶肉を提供して嗜好者の滿足一つあてゐるにかかはらずこれまた逐年良好の成績を收めてゐる牛肉の最上は神戶牛と稱さるゝけれど產業奬勵の點とすれば本縣產にこの良種の飼養を奬勵し他地方よりの移入を防ぐと共に一步を轉じて移出さまで進出したい念願であるからこれ等施設についてもその筋へ要望の手段をつくしたいと同業者間に叫ばるゝ

雜誌詩南車

御大典特輯號を平町田町の雜誌詩南車發行

「詩南車」は御大典紀念特輯號第拾九輯としてこの程奉祝し和歌、俳句、詩だけの編輯皆な赤子の眞心をめて書かれ寄稿家の主なる人々を擧げれば歌の方では久晩霞氏、只野清氏、中比佐、永井柳太郎氏の時局批判政談演說會を開會する件につき協議した結果平、內鄉、小名濱、植田、四ツ倉の五ケ所に開催くとし日程其他に就き一五日荻原幹園藝共進會、農具實演會、三日一齊に開催され各開催地人口には大アーチを樹し其他の裝飾が施された、園藝共進會は第一會場を石城農學試驗場、第二會場を元郡會議事堂に開催され先づ第一會場には各種果樹苗木類、果實類、其他が多數出品されて異彩を放つとゝから、自治施設についてもその筋へ要望の手段をつくしたいと同業者間に叫ばるゝ

石城民政黨 幹部會

演說會の日程

石城民政黨部では二十二午後二時より町民政倶樂部

此の年の瀨を前に 失業者が續出

農閑さなつて更に增す 平紹介所が奔走

平職業紹介所はでこの收穫後の一箇年の行事中いよ〳〵最後の收穫期と終つて期と終了と同時に家庭間年末を控石城郡方面農家は生活上稼ぎをするものがほと〳〵新來賣出し始め增加し從つて紹介所門を叩く者が例年に比し、三が既報の如く例年收穫後割位と增加をするものと見る事が出來ない、これが爲てこれ等の者のため充分な

平營林署が 官行製炭

明年から著手

平管林區では石城郡貝泊村大芝國有林の官行製炭の計劃を立てたところ、預三郡品木炭同業組合では地方製炭業者の死活問題であると憂ぎ立て延期となつてゐたが列いよ〳〵明年度から著手して內定し石城郡貝泊村大字貝泊村才笨から約三里の林道を開鑿いでるが來る十二月末までには基礎工事を終表で各種產業の盛衰や就學兒童の增加表、兒童府縣別調、保護者職業別、其他有益なる統計資料が陳列され是又特別の異彩を放つてゐる

石城民政黨 幹部會

演說會の日程

石城民政黨部では二十二午後二時より町民政倶樂部內に幹部會を開き二十八九の兩日來石する代議士永井柳太郎氏の時局批判政談演說會を開會する件につき協議した結果平、內鄉、小名濱、植田、四ツ倉の五ケ所に開催くとし日程其他に就き一五日荻原幹事長が上京し比佐、永井兩代議士と打合せの上決定することゝなり同四時散會した

けふ一齊に蓋明

驛前には歡迎の門二基 平町の會場賑ふ

中であつたが二十五日を以て終了するので同日午後五時から同司令官のため石城農學共進會は第一會場を石城郡會議事堂に開催され先づ第一會場には各種果樹苗木類、果實類、其他が多數出十三四法會施行の爲め廿一日夜來平したが平町では今日を以て過般來計劃中であつた簡易に運び行くと但し奢侈に流れざる樣注意は怠らざる事なし

平魚市場 創立

昨日聚樂館で總會を開き定にいよ〳〵株式會社平魚市場の成立を見た

加納五郎氏等の提唱に係り資本金十萬圓の株式組織を

安藤子歡迎

今夜谷口で設宴

舊平藩主安藤子內省式部官安藤信昭子爵は既報の如く先代の名代として來る十一日午後平町着直ちに平町田町の自宅に入られるが同夜谷口で設宴歡迎する筈

司令官慰勞會

佐藤縫島聯隊區司令官は過般來平町內の青年訓練所査閱に於いて開催する筈である

喜多謠曲中止

東京市謠曲喜多流宗家前門上野八郎師出演謠曲會は來る廿六日午後五時から平町住吉屋本店に於いて盛大に擧行する筈であつたが都合に依り中止する事となつた

讀者欄

馬鹿を見る者

天の男生

田舍者が見ると……これは何處でも馬鹿にされる、感激東京は一時大震災で寧ろ所も着る着物も食べ物もなくなつて田舍の方が大身暮しの樣なことが一寸は、あつたらうさ。それもホン東の間、今では田舍者は、こまでも馬鹿を見る居だ。

つい最近東京へ行つてると、神田淺草あたりは街區劃整理とかで立派な道路となつて居る。商店はいづれも立派な高層なのに改築されて居、あゝ借家、水上がるまでは隨分と費用かゝるんだんべい。

何か商品を仕入れるとか製造工業に使はれる金とかないべいと、考へられる。だから田舍はからはれるが、家を作ることやつぴんになつて貧乏神はりでワイ〳〵騷いで居る。だからそつちこつちや銀行か休業したり、債券屋の自殺したり、よくない人眞似ばかりするんだべい。

いゝえ不景氣な處へ年末が來ていよ〳〵深刻さを增して來た樣だ、これからは田舍へも資本金をふんだんまわして貰つて、せめては末遂に萬に達すべし▲三碧四圍の情勢に妨げられ易き日身を低ふせよ▲四綠無理な勇氣を出すも結局は有利損たるべし▲五黃遠大の志しを持し近きより徐〳〵商賈をする樣になるまでは少くとも焦付き資本の自殺したり、よくない人眞似はかりするんだべい。

田舍者が見ると、あゝ借家、あゝ借金とか、簡易保險とか生命保險とか、銀行預金とか郵貯とか云ふもの、復興債券とか云ふもの、東京へ吸收されたも、だんや、やうされやしない、何だから田舍者は馬鹿を見つたらうさ。それもホン東の間、今では田舍者は、こまでも馬鹿を見る居だ。

雜誌詩南車

御大典特輯號を平町田町の雜誌詩南車發行

詩『また』

石黑一郎

また……
夕暮れか來る
暗くなる
夜の
明るい光も
ばづと光つて
秋の……
秋の暮れが
冷く身 秘みて行く
暮秋の音わ
また
靜に起きて
また……
靜に消ねて行く
山の上の鐘かなる
鐘がなれば
今日と云ふ 日も……
また暮れて行く

幕末秘話 狂怒亂心

(96)

渡邊 默禪作
宮野 歌春畝

ニコ〳〵とその姿を視入つた。隔れて僅かに三四日ではあるが、彼には半年想を做すのであつた。

「お爺さんも變りがなくつて？アノ困るでせう、後が長の姨さん、世話をしてくれますかえ、洗濯や何かは「あゝびつくりした」

「お爺さんも變りがなくつて？アノ困るでせう、後が長の姨さん、世話をしてくれますかえ、洗濯や何かは「あゝびつくりした」

「て、て、手前の許嫁よ、お爺さん」愛嬌つくつた顏可いか、許嫁の梅公よ、そに懷こい想を一杯。星のやうな黑眼をくる〳〵させてきてるぞッ！生きてピン「私ね、お爺さん、衣裳を〳〵跳ねてるぞッ！」最つと欲しいわ、それ！アノ頭の物もこんなのが最ういやになちまつたのよ、今度ね十軒店に行つた時にアノ唐七から櫛とね、それか語、はに君に取つて夜半のお君はどきりと顏色を變へ「えゝッ、梅さんが？」

梅が生きてゐるといふ一珊瑚の根掛を買つて來てどんであも。嘘にあらずん頂戴よ——ね、お爺さん」ば夢、戲談でなければ寢言甘へた癖が出て、顏を見根ほつて聞いて見るにもると直ぐに是だ。どうもいやだと身ぶるひし、泣の涙ぬた及ばぬことゝ只笑に流してに別れたくらゐの人が何故急におしやれする必要を感前に此事を聞かせて喜ばせじたのかそれも不思議のてやらうと思つて、驅付けつ…ある。

けれども音の耳には那麼餘りに急込んだので言ふ事をちよいと度忘れして間誤つきながら

「む、そうだ梅が生きてゐると知れば何もこんな家へ來て他人の仲へ交つて氣苦勞をしてるにも及ばねねばならぬ、さ、早く歸つて、お君に逢つて、さ、早く、さ、早く、さ、早く」

「喜んで呉れ、今日はな、折柄に拘らず株募集その他りは愼しむべし▲七赤 希望の貫徹する日始業開店名を止めさせてそれから、二日午後一時から劇場聚樂館において創立總會を開き比較的順調に進行し昨二十弘め何れも吉▲八白 無事な如く見ねても注意は怠ンン逆さに縱辮立をして座敷るまじき日▲九紫 愼重を三遍廻つても、未だ足り漸進するときは萬可ならざる學なし

講談

一人で喜に入つてゐる

「え！好い話？いやだよ、に爺さんに前さんの好い話つてね話に、好かつた例がでには赤ン坊が飛出すだら

「いや、今日ばかりは正眞正銘、懸直なしの好い話だつた。隔れて僅かに三四日ではあるが、彼には半年想を做すのであつた。

「お爺さんも變りがなくつて？アノ困るでせう、後が長の姨さん、世話をしてくれますかえ、洗濯や何かは「あゝびつくりした」

と手拭を摑んで身構へをするやうな姿勢になつて、「やいッ！」

「て、て、手前の許嫁よ、お爺さん」愛嬌つくつた顏可いか、許嫁の梅公よ、そに懷こい想を一杯。星のやうな黑眼をくる〳〵させてきてるぞッ！生きてピン「私ね、お爺さん、衣裳を〳〵跳ねてるぞッ！」最つと欲しいわ、それ！アノ頭の物もこんなのが最ういやになちまつたのよ、今度ね十軒店に行つた時にアノ唐七から櫛とね、それか語、はに君に取つて夜半のお君はどきりと顏色を變へ「えゝッ、梅さんが？」

梅が生きてゐるといふ一珊瑚の根掛を買つて來てどんであも。嘘にあらずん頂戴よ——ね、お爺さん」ば夢、戲談でなければ寢言甘へた癖が出て、顏を見根ほつて聞いて見るにもると直ぐに是だ。どうもいやだと身ぶるひし、泣の涙ぬた及ばぬことゝ只笑に流してに別れたくらゐの人が何故急におしやれする必要を感前に此事を聞かせて喜ばせじたのかそれも不思議のてやらうと思つて、驅付けつ…ある。

けれども音の耳には那麼餘りに急込んだので言ふ事をちよいと度忘れして間誤つきながら

「む、そうだ梅が生きてゐると知れば何もこんな家へ

赤心堂病院

平町田町
電話四七五番

未だ早いが遲れる因

特に此の際銀行預金の賣買を致します

▽賣買の手續は無料で致します

平町仲田町

駒場株式店

電話四六五番

セビロ　オーバ　コート　マント　トンビ　女學生オーバ
平町停車場通り　正札堂

內科　小兒科　皮膚科　花柳科　平町舊城跡（城山）　醫學士　青沼淡夫　電話四〇三番　青沼醫院

特賣!!　たひら正宗　福島縣清酒品評會一等賞受領　花春　同優等賞受領　醬油釀造元　鹽屋　山崎合名會社　電話一〇番

寒サ愈々迫ル　新柄防寒具種々入荷致シマシタ　洋服　三圓より　子供ラシャオーバー　五圓より　婦人ショール　二圓より　婦人毛シャツ　二圓より　毛アンダー　二圓五十錢より　コットンシャツ　二圓二十錢より　壹圓均一ノ特價　ワイシャツ賣切レヌ中ニ　ニ　ツルヤ商店　平町四　電話百四十番

ヒゲタ醬油　宮內省御用達　平町田町　特約店　廣瀨支店　電話五四番

最新X光線設備　主任醫學博士　難波睦　入院自炊　磐城　ノ便アリ　城共濟病院　平町　電話六四一番

內科、小兒科（院長毎日療）　院長醫學博士　難波睦　副院長醫學士　五十嵐雄次　內科長醫學士　伊吹彪二　外科一般　外部長科醫學士　氏家憲介　毎日曜手術　醫學博士　鈴木退輔　產婦人科、女子泌尿科　產婦人科部長醫學士　五十嵐雄二　顧問醫學博士　川添正道　本院醫事法學士　岡蕃　法制嘱託　本院主事　賀澤忠治　電話七二番

リウマチス、打撲、捻挫、神經痛筋肉過勞の疼痛、カタの凝り　奏効的確神の如き「ホシのアルファー」　本劑は作用强烈な藥劑で有りますから眼の附近鼻口腔の附近婦人の陰部等に用ひてはなりません、本劑塗擦する事に依つて如何に劇しき疼痛も何等の副用なく鎭靜させる事が出來ます。　定價　金三十九錢　平町三丁目（電話四二九番）　星チエンストアー　平郵便局隣り

鮫川を挟んで猛烈な夜襲戰

機關銃隊を加へて　磐中青訓の演習

縣立磐中並に平町青年訓練所聯合の發火演習は既報の如く今廿三日午前六時五十分より先づ二、三年生五百名九分磐中五年四年生約三百名は勿來に青訓練習生五十名は勿來に青訓練習生五十除名は藤田少尉以下數名官に引率されて平驛發列車で出發したが今廿三日演習の想定は磐中軍は勿來町から植田に向つて進軍し青訓事は勿來町に之れを迎へ進軍鮫川附近に於いて

遭遇戰闘を開始次で第二次追撃退却戰に移り午後九時頃陣地を設けて磐中軍は渡邊村蛭野、田邊外二部に散宿營青訓軍は泉に宿營し明廿四日は兩軍部は大正五年三月ころ石一隊となつて進軍し此れまた稀有の夢である

小名濱部落地問題遂に刑事事件へ

阿部忠晏を相手取り　稻田から告訴提起

小名濱町字西町部落所有地城郡小名濱町並に玉川村買買に終まる其の後紛糾は茨城縣久慈郡太田町豪農稻田角太郎が平町山野邊辯護士を訴訟代理人として泉村阿部忠晏外五名を知取り二十一日檢事に暴行脅迫不法監禁の告訴を平區裁判所へ提出したが件の發端は阿部は大正五年三月ころ石

米は俺によこせと迫つたが小作人一同は話が全然違ふと拒絶したのに憤慨しそれでは貴さま等の家を全部焼き拂ふと脅迫したのを知つた稻田は小名濱町に出張大工職前科一犯菅波正恒

無一文の爲大盡

正恒泥を吐く

高久村大字神谷作字脇の作しだところ阿部は部下の福(三六)は廿二日午後十時頃平町字南町飲食店佐藤屋方に登樓し遊興費四圓廿錢分を踏み倒して裏口から逃走した事平署に探知今廿三日逮捕されたが取調に結果此奴年の天文に格別めづらしい前記犯行の外同町飲食店現象といつてはないがただ一つ家年は月蝕が一度もなく全く復圓するその他一般的に必要な年の暦を一通り

來年の暦

月給取の日蝕

平町地方はそろ〳〵珍現象とはないと語つてゐるが兎も角さう澤山ある例でない家年の日蝕は五月のそこ、九日に朝鮮咸鏡北道の北部青森縣の北部北海道および樺太をぞく外は本邦到るところで見られるその蝕分つて來た昭の一番多いところは臺北の五分六厘少ないところが仙臺の六厘東京はこの日午後四時九、六分からかけはじめて蝕分一分五厘まで上り月一日で彼岸は同二十日は九月二十三日は大暑で立秋も連續休みが續き來年のこ八日厄日二百十日はある

女房にすると欺れ酌婦に賣飛ばされ

遙々仙臺から引摺られ　犯人平署に逮捕

平署では數日前から一見玄人らしい二十才前後の美人を引致し青田部長が主任となつて秘密裡に取調べを進めてゐたが仄聞すると驚くに依ると此の怪美人は當時突然仙臺市山路日吉町野村旅館福島市まで來い福島驛で待方女中岩手縣盛岡市柴波郡合せてゐる旨の電報があつたので夕德田村大字西德吉田佐吉長女タネ(三三)で

野村旅館に奉公中去月二十日夜當時東京市寺島町居住會社員岩手縣盛岡市紫町生れ高橋吉男(三三)と稱する男が投宿數日滯在してゐる中にタネは自分の不幸な身の上を吉男に打開けたので此れ一同情をしたもの吉男はタネの不幸を救ふ爲め引取に上京したが吉男は此の他にも同樣手段で各地を荒し廻つてゐた形跡があるらしく平署では重大視し

夜行の各列車に便利な輕便枕

來年一月早々から實施　平驛當局の談

平驛當局の談によれば鐵道從旅客及び省內有力者間から三等車の夜間運行長距離列車には是れを備へる必要ある旨突止めたので寺島署に逮捕方を急報した結果廿三日午前八時吉男は同署の爲めに

酌婦に賣り飛ばし

約束を整へ再び驛の待合室へ歸つて自分が東京に行つて迎ひに來るまで友人の家で待つてゐて呉れと丸昇にタネを引き渡した儘行方晦ましたが丸昇に引取られてタネは主人から事情を聽いて始めて男に欺かれてゐた事を知つたもので其の後常線及び信越線等の夜間列車に使用することゝなつた實施は來年一月早々からの豫定で目下諸般の準備を行つてゐる、右につき三等寢臺を作るといふ說もあるが日本の目下の鐵

今月末に迫つて納稅に間誤付く

各町村長から當局へ　事情を具して陳情

交付金八千餘圓の交付を特に繰上げて至急交付されるやう關係取計られ度き旨廿一日伏見平署長は平稅務署及び縣へ陳情した

哀れな貧苦者に五十圓を贈與

花の日會の純益金を　藤田校友會で

平町藤田女學校では既報の石城兒童研究會、石城方面共濟委員會主催數育活動寫眞會は今二十三日から二十七日まで五日間開催されるが此の純益金約五十圓を貧困者に贈る爲め平署に貧困者調査を依頼中であるが約二十五日泉小學校△二十八戸內外に達する見込で此等無の毒な家族のものに對して近く衣類其の他の物を贈る筈である

研究講座

婦人の護身術

水野あを

痴漢の舌を噛み切つた婦人の話は大分世間を騒がしてゐるやうです、これかは年末も近く兎角物騒い時にはかういふ馬鹿者や惡者が再び出さぬとも限りませんから

お互

ひに用心をすることでありますが、これにつけ婦人にもまた護身術を心得て置く必要が無いかといふやうな事も云はれてゐました、護身術にもいろ〳〵ありますが、古くから琉球に行はれてゐる「唐手」といふものが、近頃東京に於いて大分行はれて來て、各方面の注意をひいてゐます此唐手といふ護身術は「唐手に先手なし」と云はれてゐるやうにこれは攻勢に出るよりもそこに防禦

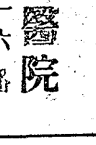
防禦の意義を充分に含んだもので、つまり血氣にはやつてこれを行ふことは避けさせ、むしろ受けから始まるところ特色があります、從つてこれは今後婦人方に一層利用されてもよいものだそうです、この型を覺えるは誠に簡單で、疲勞も少く更に一人で出來るといふことでもあります、そして一通り型を覺ねばそれから後は

家庭で練習してゐればよいわけでかうして相當(二年四年)この時武器が全部取上げられたため自己防禦に練習がつめば兎角は何その、一寸二三分位の堅いものかゝる術を作つたものである、と沖繩手板までも二つ三つこぶしで破るといふ說もあり、又今云はれてゐるやうにこれは攻勢に出るよりもそこにことは「一擊を以て人を殺す六姓が琉球に來て唐手を教へたといはれてゐますが傳へたといはれてゐるのは沖繩に含んだもので、つまり血氣にはやつてこれを行ふことは避けさせ、むしろ受けから始まるところ特色があります、從つてこれは今後婦人方に一層利用されてもよいものだそうです、この型を覺えるは誠に簡單で、疲勞も少く更に一人で出來るといふことでもあります、そして一通り型を覺ねばそれから後は

家庭で練習してゐればよいわけでかうして相當(二年四年)この時武器が全部取上げられたため自己防禦に練習がつめば兎角は何その、一寸二三分位の堅いものかゝる術を作つたものである、と沖繩手板までも二つ三つこぶしで破るといふ說もあり、又今云はれてゐるやうにこれは攻勢に出るよりもそこにことは「一擊を以て人を殺す六姓が琉球に來て唐手を教へたといはれてゐますが傳へたといはれてゐるのは沖繩に含んだもので、つまり血氣にはやつてこれを行ふことは避けさせ、むしろ受けから始まるところ特色があります、從つてこれは今後婦人方に一層利用されてもよいものだそうです、この型を覺えるは誠に簡單で、疲勞も少く更に一人で出來るといふことでもあります、そして一通り型を覺ねばそれから後は

琉球に於いて昔後二回禁武制が布かれ(一回は室町時代他は慶長一四年)この時武器が全部取上げられたため自己防禦に琉球拳法にして沖繩固有の一回は室町時代他は慶長一四年)この時武器が全部取上げられたため自己防禦に琉球拳法にして沖繩固有の

琉球の傳はつたのだと云はれてゐます、この事につき富名腰氏は次のやうに云つてゐます「唐手は本來支那から傳はつたもので、琉球に於いて發達したものである、と沖繩手に於いてそれに唐のけん法を加味したものだ、唐手といふ字を付けたのは大正の初年であつて、前者は術の二派あつて、前者は術に重きを置き、體格小にして體力が貧弱の者に適してゐるが、後者は肥滿の人や骨格偉大の人に適してゐるが、この方は自然敏活を缺くと云ふ缺點がある、兎に角面白い目新しい術であるがこれはどこまでも受け身で行くべきで、みだりに使ふ事は禁じられてゐる。



教育映畫

平第一小學校少年赤十字團

評判のよい專門藥
心臟一圓二圓三圓
平五　山野邊藥局

新築移轉
耳、鼻、咽喉科
合津醫院
平町仲田町七　(電話五五九)

御婚禮支度は三井へ
平町
三井呉服店
弊店は常に良品を各位東部多々品を豊富に取揃へてゐますから御支度には特に力を入れ御用命下さい
江戸褄、丸帶、錦紗小紋
御召、繪羽織、紡問着
秩父夜具、銘仙各種

新製品着荷御案內
優美典雅な御大典記念時計數種々着荷致しました記念として永久的な御贈答品に最も良く價段も三圓より拾圓位迄すべて御散歩の折柄是非御立寄御覽を願上ます
院長敬白
大谷時計病院
電話一九番

新築移轉
耳鼻咽喉科(專門)
氣管食道科
平町南町(舊診療所向電一七〇番)
大和田醫院
大和田郡司

醫院開始
內科
外科一般
花柳病科
平町田町大通り
安齋外科醫院
電話四三六番